

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成22年9月分)

ご協力ありがとうございました。平成22年9月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 152社 回答率 91.6%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	31社 20.9% (4.5)	38社 25.7% (10.3)	51社 34.5% (30.1)	21社 14.2% (28.2)	7社 4.7% (26.9)	148社	27社 18.5% (16.6)	28社 19.2% (11.3)	43社 29.5% (25.2)	25社 17.1% (21.9)	23社 15.8% (25.2)	146社
売上高	30社 19.9% (4.5)	40社 26.5% (10.2)	52社 34.4% (31.2)	22社 14.6% (28.0)	7社 4.6% (26.1)	151社	28社 19.0% (20.5)	33社 22.4% (11.3)	36社 24.5% (21.9)	28社 19.0% (20.5)	22社 15.0% (25.8)	147社
在庫数量	2社 1.4% (2.7)	28社 19.2% (14.9)	75社 51.4% (49.3)	31社 21.2% (24.3)	10社 6.8% (8.8)	146社	9社 6.4% (5.6)	20社 14.2% (12.0)	48社 34.0% (33.8)	31社 22.0% (23.9)	33社 23.4% (24.6)	141社
販売単価	1社 0.7% (1.3)	12社 8.2% (10.5)	101社 69.2% (62.5)	29社 19.9% (23.0)	3社 2.1% (2.6)	146社	10社 7.0% (10.2)	33社 23.2% (26.5)	61社 43.0% (32.7)	27社 19.0% (21.8)	11社 7.7% (8.8)	142社
収益状況 (粗利)	10社 6.7% (3.2)	33社 22.0% (6.5)	69社 46.0% (43.2)	31社 20.7% (29.0)	7社 4.7% (18.1)	150社	17社 11.6% (16.0)	24社 16.4% (14.7)	54社 37.0% (30.7)	35社 24.0% (22.0)	16社 11.0% (16.7)	146社
稼働率 (生産・加工設備)	10社 8.3% (1.7)	28社 23.1% (9.1)	60社 49.6% (40.5)	20社 16.5% (31.4)	3社 2.5% (17.4)	121社	13社 11.1% (12.9)	26社 22.2% (11.2)	44社 37.6% (39.7)	22社 18.8% (17.2)	12社 10.3% (19.0)	117社
入出庫の トラック台数	8社 5.6% (1.4)	33社 22.9% (4.8)	76社 52.8% (44.8)	24社 16.7% (31.0)	3社 2.1% (17.9)	144社	9社 6.6% (7.1)	37社 27.0% (16.3)	51社 37.2% (39.7)	28社 20.4% (19.1)	12社 8.8% (17.7)	137社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	7社 5.1% (2.0)	40社 29.0% (24.5)	38社 27.5% (31.3)	53社 38.4% (42.2)	138社	0社 0.0% (0.7)	10社 7.4% (8.0)	66社 48.9% (50.7)	45社 33.3% (31.2)	14社 10.4% (9.4)	135社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査(9月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 8月の帳場明けから、短納期ながら仕事量は増加傾向となっている。ただ、中期的持続的となるかは疑問で、とくに自動車、電気関連はエコポイント終了、改定による影響が計りかねるため、在庫は増やせない。建築は、改築や改修が細々と出てきているが、絶対量は回復していない。カラー鋼板も、設備、組織の統廃合が実行されるし、ユーザー側も、規模、企業数の縮小、統廃合が喫緊の課題となってきた。
- ② 弱含み。アロイ定尺@80/kg半ばで出てきている。決算期絡みで安値が出ている模様ではない。10月以降、更に値が下がるのではないか。
- ③ 建設関連は需要期に向けて盛り上がる気配がなく、エコカー補助金終了による車関連産業の生産減少の見込み、および輸出型製造業の円高による生産下方修正等が見込まれ、下期に向けて早期の需要喚起の経済対策が望まれる。
- ④ 入荷が順調で、需給バランスが在庫増へ振れている。したがって市況も弱含みに転じ、久々に2~3千円の下押し商状となっている。薄板三品在庫も330万トン位で良いのではないか。
- ⑤ 今期に入ってから、前年度比は増加であるが、前々年度比では大幅ダウンの数量。現状での推移で“良”とするべきか。
- ⑥ 9月前半は好調であったが、メ後くらいから仕事量が落ち込んできた。以前は良いところと悪いところのデコボコがあったが、ここに来て全体が悪くなってきた。相場も下げ基調で、メーカーの出方次第では大幅な落ち込みも考えられる。
- ⑦ 今後の動きとしては大きな変化はなく、現状の状態が続くと思われる。

### 中板

- ① 支給材が増えた分、前月より数量、粗利は上がったが、売上は下がった。
- ② 9月の販売量は、前月比増加も、荷動きは低調に終わる。需要低速が続く中、売上確保から安値の販売競争が激化しており、採算割れの商売が続いている。市場には原コイル価格より安値の定尺製品が出回っており、確実に採算割れとなっている。今後もこのような状況が続くと予想する中、とくに無規格の中板市場は、販売および価格競争のため、泥沼化の恐れありと考えられる。よって、設備を持つコイルセンターは、厳しい環境に直面することを予測している。

### 厚板

- ① 当月は、数量的にはさほど多くなかった前月に比べ、大幅に増加した。これは、橋梁は相変わらず低調なものの、春先から進捗していた複数件の鉄骨がピークとなったためであり、工程的にも短納期かつ小単重品が多かったため、相当逼迫した状況であった。この傾向は、あと1~2ヶ月続くが、それ以降年末までには首都圏の大型鉄骨もピークアウトする。また、橋梁のFABの手持ち工事量が少ないというファンダメンタルズは変わっておらず、厳しい状況は変わらない。一方、店売りの動きは、相変わらず低調であり、価格的にもほぼ横這いである。

## 一般開張鋼

- ① 前月比、営業日数2日増分だけ各調査項目は微増であった。1日あたりの売上や粗利も6月をボトムに微だが改善傾向を示しているが、来月はどうなるやら自信なし。国内に建築需要の大勢を為す中小型マンション新築需要も、早やピークを迎え、好調な産業も見当たらず、当然、鉄を使う設備投資も少なく、来年1～3月以降の営業展開は販売先の信用不安も付加して乾坤一擲のときとなろう。

## 平鋼

- ① 8、9、10月と稼働日数で割るとほぼ同じで、動きは低位安定。需要低位のため、相場は若干ジリ安の傾向。一部、耐震、建機等の動きはあるので期待している。

## 工工開張鋼

- ① 電炉メーカーの10月売出し据え置きを発表。現状、荷動きが少なく、スクラップも下落傾向だが、流通は何とか今の市況レベルを維持するしかない。
- ② 市況に大きな変化はないが、需要の少なさも変わらない。したがって、売り先行の商売は変わらず、安値が消えない。スクラップが下がり気味で、先安感が少し出てきている。ただ、在庫は少なくなってきた、歯抜けも相当出てきたため、引合いは少し増加している。歯抜けがもっと出れば、市況の立て直しのきっかけになるかも知れない。

## 異形棒鋼

- ① 近々では、スクラップが少し下がっているが、先行きは分からない。大口引合いは様子見で止まっている。若干弱含み。店売りは変わらず。

## 鋼管

- ① 売上、利益ともに最悪期よりは良くなっている。しかし、回復しているという実感はない。少しずつでも良くなってくれば良いと考える。
- ② 荷動きに変化なし。低レベル横這い。

## 構造用鋼

- ① 店売りを中心とした動きは、建産機、工作機械等、緩やかに回復してきたが、10月以降下期にかけて、不透明感が強まっている。メーカーの店売り値上げ(一次)に伴う再販値上げは、ほぼ浸透し、市況は横這いで推移している。紐付については、一部建産機関連の生産調整の話も出しており、下期にかけ不透明な状況である。

## その他

### <曲げ加工>

- ① 相変わらず不況なり。今後尚しばらく不況が続くか。

### <金属表面処理加工>

- ① 9月は物件物、紐付ともに前倒し要望およびスポットのまとまった物量の加工が重なったこともあり、計画物量より3割増となる。20日以降のスポットの引合い、受注が低調であるが、10月以降も物件物の紐付が高位安定にて、高操業で推移しそうである。